

平和とよりよき生活のために

広島の

せいきょう

第14号 2004年7月14日

広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0012

広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル4F

TEL 082-502-3850

FAX 082-502-3860

E-mail : kenren.h@proofocn.ne.jp

2004年度県連通常総会開催 5/28



ご
来
賓

- 田口尚文様（広島県副知事）
- 池田信義様（広島県労働者福祉協議会会长）
- 中原律子様（広島県消費者団体連絡協議会会长）
- 西岡恒治様（JA広島中央会理事）

◀ 広島県副知事
田口尚文様ご挨拶

5月28日、東方2001に於いて、2004年度県連通常総会を開催しました。

はじめに、富田会長理事より、イラク戦争の問題と来年の被爆60周年へ向けた一層の取り組みの大切さや、個人消費支出低迷が続く全国的にも厳しい経営状況の中で、組合員と地域社会へ貢献できる生協らしい取り組みの必要性などに触れられた挨拶がありました。また、広島県副知事田口尚文様をはじめご来賓の皆様からは、生協に対する期待と励ましのメッセージをいただきました。

2003年度活動として、県連くらし・消費者委員会代表の廣光さんから、消費者政策充実の取り組みについて、消費者保護基本法改正実現までの経緯と、今後の条例改正についての学習や悪質化する消費者トラブルを防ぐための地域での取り組みの重要性について報告がありました。また、県連食の安全委員会代表の上本さんからは、麦づくり体験による地産地消の普及啓発活動について発表がありました。

2004年度は役員改選にあたります。新たな役員体制で、来年の被爆60周年に向けた平和の取り組みや、ユニセフ活動の推進、消費者政策充実の取り組みなど、県内生協はもちろん他団体や行政とも広く連携し、安心してくらせる地域社会づくりに貢献するため、平和、医療・福祉、環境、食の安全、消費者政策などの各分野に積極的に取り組むことを確認しました。



消費者保護基本法改正案が可決成立しました。

～今後は広島県の条例改正と地域ごとの学習をすすめます～

消費者保護基本法の改正案が、5月14日の衆議院本会議を通過し、5月26日の参議院本会議で全会一致で可決され、新たに「消費者基本法」が成立し6月2日に公布、施行されました。

この法律は、激増する消費者被害等を背景に、消費者と事業者の構造的な格差を是正して国民のくらしの安全・安心をつくることを目的として、従来の「消費者保護基本法」が36年ぶりに抜本改正されたものです。

「消費者基本法」には、私たちが「消費者保護基本法改正試案」(全国消費者団体連絡会)で提言した、消費者の権利の明記、行政・事業者・消費者の責務・役割の見直し、基本計画に関する規定の新設、苦情処理・紛争解決の促進、国の推進体制の強化、国民生活センターの役割等の諸点が盛り込まれ、消費者の主張が大きく反映されたものとなっています。

県連では今後も、消費者のくらしの安全・安心をめざし、「消費者基本法」の実効性を確保するため、広島県の消費者行政の充実強化や条例改正に向けての学習及び提言活動、地域ごとの継続的な学習の取り組みの支援をしていきます。また、2005年に国会審議予定の消費者団体訴訟制度の法制化に向けてNPO消費者ネット広島等と連携して、消費者行政の充実強化をめざす取り組みを進めていきます。



「消費者保護基本法」改正について懇談会を行いました。

～自民党・消費者問題プロジェクトチーム座長岸田文雄議員を迎えて～

5/22

5月22日(土)消費者保護基本法の抜本的改正にご尽力いただいた自民党・消費者問題プロジェクトチーム座長岸田文雄衆議院議員を迎え懇談会を開催しました。懇談会には、県環境生活部消費生活室、県消費者団体連絡協議会、NPO消費者ネット広島、日本生協連からの出席があり、県生協連からは16名が出席しました。

岸田議員からは法改正の経緯をお話いただき、懇談の後には、「さまざまなお意見を聞いて、社会全体が取り組まなければならない課題と再認識しました。成立後、実効性あるものとするためには、消費者行政の推進をはじめ分野ごとに役割を果たすべく方策を考え、各団体が信頼関係をもって連携することが重要です。ぜひ本法を根拠法として活用してください」、また、消費者団体訴訟制度を視野に入れたNPO消費者ネット広島の活動に対しては、「2005年の通常国会で審議される見込みで、信頼性のある受け皿団体が促進力となります」と期待が述べられました。

今回の懇談では、さまざまな立場の方に参加していただき課題の共有もでき、今後の連携強化へのワンステップとしても重要なものとなりました。



◀岸田 文雄
衆議院議員



初級職員研修会

4/9

4月9日、鯉城会館で、45名の初級職員が集まり研修会を行いました。県連岡村専務から、生協で働くことや仕事の価値について、広島中央保健生協の東区居宅介護支援事業所山田寿美子所長からは「医療・福祉の現場からの報告」と題し講義が行われました。

また、平和記念公園内で碑めぐりを行いましたが、広島出身であっても平和学習の機会が少なく、貴重な場となったようです。ワークショップでは、さまざまな生協また職種の異なる職員同士で活発な意見交換が行われ、県連らしい交流ができました。



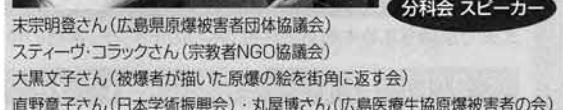
わきあいあいのワークショップ

ピースリレー結団式・ピースフォーラム ~いのちの尊さを求めて~ 5/17

5月17日に、5市民団体、7生協90名参加のもと東方2001にて、ピースリレー2004結団式（広島県連絡会主催）と、「核兵器廃絶条約の早期締結を求める請願」署名運動を含む一連の平和活動のスタート集会として「ピースフォーラム」を開催しました。被爆の証言（59年前の広島）と森滝春子さんの劣化ウラン弾調査（イラクの現在）の報告（VTR）を受けて放射能被害の恐ろしさを学び、後半は4分科会でテーマごとに深めました。全体会・分科会とも多彩なゲストをお迎えしての企画で、昨年の「ヒロシマ行動」の振り返りVTRや今年のピースアクションinヒロシマのお知らせも盛り込み、被爆60周年に向けて機運を高めるための示唆に富む有意義な行事となりました。



分科会1
「アメリカに住む日本人
から見た9.11後の世界情勢」
スピーカー
直野章子さん



分科会スピーカー
末宗明登さん（広島県原爆被害者団体協議会）
スティーヴ・コラックさん（宗教者NGO協議会）
大黒文子さん（被爆者が描いた原爆の絵を街角に返す会）
直野章子さん（日本学術振興会）・丸屋博さん（広島医療生協原爆被害者の会）

ピースリレー2004連絡会 構成市民6団体 出席者（敬称略）

- | | |
|-----------------------------------|------------------------|
| ■広島県原爆被害者団体協議会
(坪井直、武田靖彦、清政文雄) | ■広島県青年連合会（安岡儀眺、中村雅文） |
| ■広島県原爆被害者団体協議会
(末宗明登) | ■宗教者NGO協議会（スティーヴ・コラック） |
| | ■広島県生協連合会（富田巖） |
| | ■広島県女性団体連絡協議会（欠席） |

第1回リーダー研修会「環境問題と生協の役割」

5/28

5月28日、第1回リーダー研修会が、東方2001で開催されました。地球温暖化が問題視されるなか、私たちに何ができるのか、広島県環境保健協会地域活動支援センター薦田直紀センター長からお話をうかがいました。日本全体のCO₂排出量の23%は家庭から出ていて、しかも増え続けています。家庭でできるCO₂削減の第一歩として、まずは電力量の削減に取り組もうとの提案がありました。「私が一歩、みんなと一歩」一人ができるることは少しかも知れませんが多くの組合員の実践が広がっていくことが重要だと再認識しました。

★★ まず一歩！ みんなで始めよう !! ★★ …もちろんガスも水道もガソリンも減らそう…

エアコン	暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定をする。
照明	人のいない部屋の照明は、こまめに消灯する。
テレビ	テレビをつけっぱなしにしない。テレビを見る時間を減らす。

冷蔵庫	季節に応じて温度設定。ものを詰め込みすぎないよう、整理整頓。
電気ポット	長時間使わないときには、コンセントからプラグを抜く。



薦田さん

広島県生協連での夏の主な

unicef ワークショップ①「ユニセフってなあに?」

ユニセフ活動を知ったり国際理解を深めることを目的に、ワークショップを開催します。
世界の子どもたちの暮らしやユニセフ活動について、ビデオ視聴や、ゲーム性も取り入れたワークショップを通して、楽しく知ってみませんか？大人はもちろん、子ども、親子の参加も大歓迎です！
お誘い合わせの上、どなたでもお気軽にご参加ください。

日時	2004年 7月17日(土) 13:30～16:00	対象	おとな・こども(小学生以上)、ユニセフに関心のある方ならどなたでも♪ ●ワークショップは小学校高学年以上を対象とした内容ですが、中・低学年も参加可能。 ●保育あり(要事前申込 おやつ代 100円)
場所	広島県民文化センター5階「パール」	参加無料	主催：広島県生活協同組合連合会
申込	7月15日までに、お電話にてお申込ください。(先着40名)		

《主な内容・予定》 ●ビデオ「ユニセフと地球のともだち」視聴とユニセフ活動についてのお話(計約40分)
●カードを使ったワークショップ「貧困はどこから？」(約90分) 他

住まいのセミナー2004

大好評につき6年目

主催:広島県生活協同組合連合会、木の香る住宅工房、JAグループ広島 講師:木の香る住宅工房(2002木材供給システム優良事例コンクール受賞)の建築家など

日々の暮らしとやすらぎの場、思い出を刻む場でもある大切な住まいを、住まい手とつくり手の視点で見直すセミナーです。全国レベルで優秀な建築家をはじめとする専門家と共に、家づくりを学びます。

6年目を迎えた今年は、実例の紹介を中心に、建主さんをゲストに迎えたり、素材の実物に触れたり、模型や図解も使った、実感重視・参加重視の、わかりやすく楽しいプログラムです。

家づくりを考えている方はもちろん、住まいや街なみ、山や木材に关心のある方など、お気軽にご参加ください。

① 6/12(土) 「何から始める?家づくり」

② 7/10(土) 「心地よい空間のつくり方」

木造から鉄骨、鉄筋コンクリートまで、多様な構法のもつ魅力を事例を通して紹介し、そうした中で木構造の特色や可能性を見直します。

③ 8/21(土) 「マジメな木の家のつくり方～新築・リフォーム～」

丈夫で長持ちする木構造の住宅づくりのポイント、木材の特性、森林の役割など、木の家の「木」について紹介します。

④ 9/11(土) 「様々な素材に触れてみよう」

家の仕上げ材として使われる様々な素材の実物に触れ、実演や施工の実体験!健康へ悪影響のない材料も紹介・展示します。

●参加費 ①～③ 各回1,000円 / ④ 2,000円(体験用材料代含む)

Net Work

広島県協同組合学校'04

主催:広島県協同組合連絡協議会(HJC)

自然と調和した人に優しい地域社会づくりをめざした、農協・漁協・森林組合・生協など県内11の協同組合によるネットワーク「広島県協同組合連絡協議会」では、新たに「協同組合学校」を開講します。

協同組合の役職員・組合員や、市民や学生の皆さんと一緒に、地域づくりと協同組合について考えていきたいと思います。

① 6/26(土) 「協同組合とは何か」 講師:広島大学大学院生物圏科学研究科教授 田中秀樹氏

② 9/25(土) 「協同組合事業について考える」 講師:広島大学大学院生物圏科学研究科助教授 板橋衛氏

③ 12/4(土) 「農山村のくらしから協同組合を考える」 講師:「いきいきいわみ」会長 寺本恵子氏

④ 3/12(土) 「地域づくりと協同組合」 講師:南信州地域問題研究所 元所長 鈴木文嘉氏、田中秀樹氏(①講師)

行事〈おさそい〉

■申込・問合せ

広島県生協連合会
TEL 082-502-3850



2004ピースアクションinヒロシマ

「子どもたちに、平和な未来を残したい」「すべての人が安心してくらせるように…」
そんな、誰もがもつ平和への思いを形にする「ピースアクションinヒロシマ」。あなたも、虹のひろばやピースコンサートなどの多彩な分科会に参加してみませんか？ 平和について考えるきっかけに、また、理解を深める材料として…。今年は、親子で楽しく体験できるプログラムも充実しました。

8月4日(水)

1) 食べるピース交流会

時間 12:30～14:00

会場 青少年センター

ロシア料理を食べながら、海外の人や文化と参加者どうしの交流をします。
参加費 400円(昼食代)

2) 被爆の証言①

時間 15:00～16:30

会場 まちづくり市民交流プラザ 研修室

3) 親子で聞く被爆の証言①

時間 15:00～16:30

会場 まちづくり市民交流プラザ

マルチメディアスタジオ

朗読劇鑑賞後、被爆体験を聞きます。

4) フィールドワーク(碑めぐり)①

時間 15:00～17:00

集合場所 原爆ドーム前

5) 親子で参加するフィールドワーク(碑めぐり)①

時間 15:00～17:00

集合場所 原爆ドーム前

実際に被爆遺構に触れるなどしながら、
碑にこめられた願いを学びます。

6) ピースコンサート チケット 999円

時間 18:30～20:30 会場 広島県民文化センター

第1部 【公募出演者】風呂哲州・田端亮・松山北斗・SocoSoco®・
River of Hearts・生協ひろしま虹のコラス

第2部 【ゲスト】中国琴、琵琶、胡弓演奏と朗読のコラボレーション
胡弓、琵琶／劉習韻(リュウ・シュウイン)
朗読／角南昌代

*「まちんと」「ローズ・ブランチ」他(予定)

虹のひろば 8月5日(木)

開場12:30／開会13:30～16:00閉会

広島県立総合体育館グリーアリーナ

(12:30～13:30 展示物を自由にご覧いただけます)

13:30～14:45 ◆虹のステージ

(主催者挨拶・広島市長ご挨拶、被爆の証言、うた)

14:45～15:50 ◆みんなのひろば

(分散会…出展ブースやテーマ別コーナーいろいろ)

"民族衣装で撮影コーナー"、"ピース缶バッヂ作成コーナー"
"ユニセフコーナー"など、子どもも大人も楽しめる体験型企画
もいっぱい！



8月5日(木)

1) 被爆の証言②

時間 10:00～11:30

会場 広島YMCA

2) 親子で聞く被爆の証言②

時間 10:00～11:30

会場 広島YMCA

アニメ「太陽をなくした日」鑑賞後、被爆体験を聞きます。

3) フィールドワーク(碑めぐり)②

時間 9:30～11:30

集合場所 原爆ドーム前

4) 親子で参加するフィールドワーク(碑めぐり)②

時間 10:00～11:30

集合場所 平和記念資料館下

5) ピースフォーラム

時間 9:30～11:30

会場 広島YMCA

「核が人々に何をもたらすのか」をテーマに、
各界からの報告を受けて学習します。

6) 子ども平和のつどい

時間 10:00～12:00

会場 まちづくり市民交流プラザ

マルチメディアスタジオ

戦争と平和の問題を考える体験型プログラムです。

7) つたえよう平和への想い交流会

時間 10:00～12:00

会場 まちづくり市民交流プラザ 研修室

大人から子どもへ、私からあなたへ、どのように
平和の想いを伝えていくか、交流を通して考え
あいます。

8月6日(金)

1) 被爆の証言③

時間 10:00～11:30

場所 まちづくり市民交流プラザ 研修室

2) フィールドワーク(碑めぐり)③

時間 10:00～11:30

集合場所 嵐の中の母子像(平和記念公園噴水そば)

会員紹介



日立造船因島生活協同組合

■ 所在地	因島市田熊町4508-1	■ 活動エリア	因島市、瀬戸田町、弓削町、生名村、岩城村
■ 代表者名	理事長 田頭 俊彦	■ 役員数	(常勤) 5人 (非常勤) 10人
■ 組合員数	11,021(人)		(監事) 3人
■ 出資金	336,624(千円)		
■ 事業高	2,768,557(千円)	■ 職員数	(正規) 50人 (定時) 74人
■ 設立登記年月	1949年11月		

1949年11月に日立造船(株)の職域生協として設立されました。現在は地域生協として、食品店舗10店舗、衣料店1店舗、飲食店1店舗、共同購入、および冠婚葬祭、リフォーム等の斡旋事業等、地域に根ざした活動を展開しています。また昨年は、地域性を考慮しサービスを主体とした無店舗事業の拡大を図るため、関連会社「因島コープサービス(株)」を設立する等、組合員へのきめ細やかなサービスを提供しています。

組合員活動では、家庭会役員会、店舗懇談会、商品選定委員会、店舗モニター委員会、ふれあいの会(組合員相互の助け合い)等の委員会と、文化活動として、コープ講演会、料理教室、リサイクルバザー、ビーチバレー大会、生協祭り、店舗夏祭り等を開催し、組合員相互のコミュニケーションを図っています。島嶼部の特性として少子高齢化が進む中、食の安全、くらしと健康を守る活動を進めています。



■中央店



竹原生活協同組合

■ 所在地	竹原市中央1丁目9-11	■ 活動エリア	竹原市など 8市27町
■ 代表者名	理事長 山本 省三	■ 役員数	(常勤) 9人 (非常勤) 9人
■ 組合員数	10,872(人)		(監事) 4人
■ 出資金	325,630(千円)	■ 職員数	(正規) 35人 (定時) 54人
■ 事業高	1,282,364(千円)		
■ 設立登記年月	1964年4月		

1964年に三井金属鉱業竹原製煉所の労働組合組合員によって職域生協として設立され、今では竹原市に4店舗を展開し、さらに20年前より8市27町に宅配事業を展開して、組合員1万人強の地域生協になりました。

事業の主な柱として、店舗事業・宅配事業・LPガス事業・共済受託事業の4つの事業を展開しています。



■本部事務所



生活協同組合ひろしま

■ 所在地	佐伯郡大野町原1-2-10(大野事務所)	■ 活動エリア	広島県全域
■ 代表者名	理事長 富田 嶽	■ 役員数	
■ 組合員数	327,346(人)	(常勤理事) 4人	(非常勤理事) 22人
■ 出資金	10,597,615(千円)	(常勤監事) 1人	(非常勤監事) 4人
■ 事業高	44,843,494(千円)	■ 職員数	
■ 設立登記年月	1971年5月	(正規) 650人	(定時) 1,076人

6月7日(月)、第20回通常総代会を開催しました。2004年度の「めざすこと(方針)」は「生協ひろしまの『良さ』や『こだわり』をふだんのくらしに役立てます」、「実現したいこと(課題)」は「商品やサービスなどレベルを高め、組合員のくらしにさらに役立ちます」「生協の商品を様々な場でお勧めし、商品の輪をもっと広げます」「主体的に行動できる職員集団を育て、組合員とのコミュニケーションを強めます」「組合員のくらしや商品などの見直しにより環境を良くする行動に取り組みます」「行政や地域の諸団体と協力し、住みやすい地域づくりに取り組みます」「事業の強化と連帯の推進に取り組み、生協ひろしまの経営基盤を一層強化します」を決定しました。

その方針・課題のもと、商品、各事業、組合員活動などで組合員の満足度を高める様々な取り組みを展開します。そして、今秋には広島市安芸区に4年ぶりの新店であるコープ船越を出店します。一人でも多くの組合員に利用してもらえ、くらしの役に立つ店となるよう準備を進めています。



■第20回
通常総代会





グリーンコープ生活協同組合ひろしま

■ 所 在 地	広島市安佐南区緑井1丁目28番47号	■ 活動エリア	広島市・吳市・福山市・廿日市市・東広島市・大竹市・佐伯郡大野町・安芸郡府中町・海田町・熊野町ほか
■ 代 表 者 名	理事長 池田 直子	■ 役 員 数	(常勤) 2人 (非常勤) 18人
■ 組 合 員 数	15,305(人)	■ 監 事	3人
■ 出 資 金	302,832(千円)	■ 職 員 数	(正規) 28人 (契約職員) 16人 (定時) 55人
■ 事 業 高	2,335,080(千円)		
■ 設立登記年月	1993年6月		

グリーンコープひろしまは昨年、満10歳を迎えました。ちょうど、この年にグリーンコープ全体で、びん牛乳・子育て情報誌グループを発行するという記念すべき年でした。グリーンコープのびん牛乳は単に容器を「紙」から「びん」に変えるというリユースの点だけではなく、(生産者(農伝子組み換えをしていないグリーンコープ指定飼料を給餌して原乳生産者)→酪農連合会(この原乳を集乳・販売)→メーカー(日本NMがグリーンコープびん牛乳工場を設置し、この原乳をもとにグリーンコープの牛乳を作る専用工場を建設、グリーンコープ組合員がこの工場建設資金をみると出資として出資)→グリーンコープ組合員(びん牛乳利用))という生産から消費まで一貫した流れを作り、頭の見える関係で事業を成立させたことが画期的な点でもありました。

今年はこの「びん牛乳」をさらに多くの組合員、地域の方に利用してもら取り組みをすすめるほか、「グリーンコープ商品をもっと利用しやすいようにリニューアル」に取り組みます。また、「グリーンコープの組合員で良かった」と思えるように、商品・活動をすすめています。子育て真っ最中のお母さんたちが自動的な活動をする「子育てサークル」の立ち上げ、そして家事支援を行う二番目のワーカーズを立ち上げることも今年の大きなテーマです。



■ すこやか2004 ~子育て応援団~ の様子



広島県学校生活協同組合

■ 所 在 地	広島市東区光町2丁目8-32	■ 活動エリア	広島県内の小・中学校及び幼稚園・保育所の職域
■ 代 表 者 名	理事長 山今 彰	■ 役 員 数	(常勤) 1人 (非常勤) 19人
■ 組 合 員 数	21,130(人)	■ 監 事	7人
■ 出 資 金	475,963(千円)	■ 職 員 数	(正規) 5人 (定時) 8人
■ 事 業 高	1,643,829(千円)		
■ 設立登記年月	1948年12月		

本組合は1948年に職域生協として教職員組合によって設立されました。2年後経営不振となり事業休止に追い込まれましたが、55年に再開して以降、教職員の福利厚生活活動として順調に発展してきました。

事業として、全国の学校生協が結集しているチラシによる共同購入や生協ひろしまと提携しての週配共同購入、また商社と提携をして職場や展示会による供給活動などにとりくんでいます。さらに生損保会社と提携しての独自共済の供給や団体契約による保険金収納代行業務なども行っています。

近年、少子化による教職員数の減少で組合員数も減少傾向にあり、また、一段と職場が多く忙化している中で活動が困難になっていますが、組合員の声を大切にしながら取り組みを進めていきたいと考えています。



■総合展示会

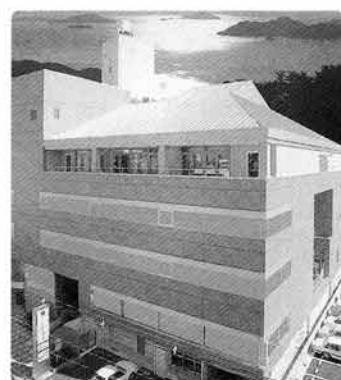


広島県高等学校生活協同組合

■ 所 在 地	広島市中区平野町8-15	■ 活動エリア	広島県内の高等学校、障害児学校
■ 代 表 者 名	理事長 秋光 民惠	■ 役 員 数	(常勤) 1人 (非常勤) 30人
■ 組 合 員 数	6,781(人)	■ 監 事	5人
■ 出 資 金	250,247(千円)	■ 職 員 数	(正規) 6人 (定時) 総数11.8人 ※正規換算5.2人
■ 事 業 高	657,051(千円)		
■ 設立登記年月	1957年1月		

当組合は、1956年4月に広高教組定期大会において生活協同組合の設立が決定され、1956年6月に設立総会を開催しました。広域職域生協として48年目を迎えています。主な事業は、カタログ・CO-OP商品・共同購入などを中心とした自主供給、指定商社・ガソリン・百貨店・自動車整備工場などを中心とした指定店供給(斡旋供給)、および共済事業です。

2004年度は、経営基盤の強化につとめ、全国の学校生協との連携を深めつつ、全国的にも稀な高校生協としての職域の特性を生かし、組合員の福利厚生の充実を図ります。



■本部事務所「カレンコスモ」

会員紹介



広島大学消費生活協同組合

■所 在 地 東広島市鏡山1-4-5 広島大学会館内
■代 表 者 名 理事長 岡本 敏一
■組 合 員 数 19,052(人)
■出 資 金 252,753(千円)
■事 業 高 3,408,768(千円)
■設立登記年月 1972年2月

■活動エリア 広島大学の職域(東広島、霞、東干田キャンパス他)
■役員数 (常勤) 4人
(非常勤) 26人
(監事) 6人
■職員数 (正規) 36人
(定時) 136人

広島大学生協は1971年に創立され、以来、学内の福利厚生の中心的役割を果たしてきました。

書籍の割引をはじめ、文具・パソコンの供給や学内TOEICなど、勉学・研究のサポートはもちろんのこと、組合員の多様化する生活ニーズに応え、インターネットでの和書・洋書・文具・CDの購入システム、旅行・免許・印刷・住まいの斡旋・各種保険・大小会学時のレセプション・コンバ・配達弁当にいたるまで、多角的・総合的な事業に取り組んでいます。

学内に店舗のある利点を活かし、事務室・研究室や医局等への訪問・配達サービスにも力を入れています。更に近年は、学生就職難を受け、就職支援事業を重要な柱として設定しています。



■食生活相談



広島修道大学生活協同組合

■所 在 地 広島市安佐南区大塚東1丁目1-1
■代 表 者 名 理事長 柳田 義章
■組 合 員 数 5,400(人)
■出 資 金 62,768(千円)
■事 業 高 649,351(千円)
■設立登記年月 1972年11月

■活動エリア 広島修道大学内
■役員数 (常勤) 1人
(非常勤) 14人
(監事) 3人
■職員数 (正規) 4人
(定時) 21人

大学生協は大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員・組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしい様々な事業を行なっています。

広島修道大学には購買・書籍・旅行サービス・カフェテリア「パティオ」を中心とした生協店舗があり、組合員の憩いの場であり、勉学研究を支える場となっています。また、「もしもの時はみんなの力で」をモットーに、全国の大学生が安心して生活できるよう、共済事業にも取り組んでいます。



■学生委員会風景



広島中央保健生活協同組合

■所 在 地 広島市西区都町42-7
■代 表 者 名 理事長 吉富 啓一郎
■組 合 員 数 30,880(人)
■出 資 金 734,360(千円)
■事 業 高 4,290,517(千円)
■設立登記年月 1955年9月

■活動エリア 広島市を中心に県内全域
■役員数 (常勤) 9人
(非常勤) 24人
(監事) 4人
■職員数 (正規) 352人
(定時) 159人

■事業所 病院1、医科診療所3、歯科診療所1、訪問看護ステーション4、ヘルパーステーション1、通所リハビリ3、介護支援センター1

当生協は来年8月に創立50周年を迎えます。国民皆保険の以前からまちづくりの中で診療所をつくる事業と運動を通して誕生しました。現在、約31,000名の組合員が健康で長生き、安心して住み続けられるまちづくりをめざして活動しています。保健大学、まちかどけんこうチェック、健康診断、すこやかな老後をつくる会、宅配給食、ヘルパー養成講座(広島県委託事業)をすすめています。今年度は、来年6月オープンの生協えき病院建設を成功させ、福島生協病院全面建て替え(新築)を展望し、支部づくりと新しい事業への挑戦、一人ひとりの健康を守る事業と運動の多彩な展開などを重点にしています。これらの活動を通じて、医療生協の「患者の権利憲典」をより具体化した組合員活動、保健・医療・福祉・介護の活動をすすめます。



■生協佐伯病院健康まつりでの
子ども太鼓ステージ(上)

■コープ五日市北店前での青空健康
チェック(下)





広島医療生活協同組合

■ 所 在 地	広島市安佐南区中須2丁目19-6	■ 活動エリア	広島市を中心に県内全域
■ 代 表 者 名	理事長 尾野 展昭	■ 役 員 数	(常勤) 10人 (非常勤) 23人
■ 組 合 員 数	42,192(人)		(監事) 3人
■ 出 資 金	989,156(千円)		
■ 事 業 高	4,382,238(千円)	■ 職 員 数	(正規) 333人 (定時) 81人
■ 設立登記年月	1967年2月		

1966年10月、300人の組合員、30万円の出資金で創立総会を開催して以来、「一人は万人のために、万人は一人のために」を合言葉に、住民の手からとく離れがちな医療をしっかり住民のものにして、憲法にも示されている健康な生活を実現するために、事業と運動をすすめてきました。現在、29の支部が、それぞれの地域で生協の顔になって健康づくりや、明るいまちづくりを進めています。事業の分野では、電子カルテの導入に続き、新たに回復期リハビリテーション病棟が完成し、共立病院の増改築も完了します。今年度は中身の充実がテーマとなります。共立病院は日本医療機能評価機構の審査に合格しましたが、それに続き、来年度の生協全体でのISO9001品質マネジメントシステム認証取得に向けての準備を通じて、患者の権利章典の具体化、マネジメントの改革を進めます。



■親子「わっ歯つ歯」まつり



福山医療生活協同組合

■ 所 在 地	福山市木之庄町3丁目6-10	■ 活動エリア	広島県東部一円
■ 代 表 者 名	理事長 服部 融憲	■ 役 員 数	(常勤) 3人
■ 組 合 員 数	9,380(人)		(非常勤) 12人
■ 出 資 金	225,045(千円)		(監事) 3人
■ 事 業 高	445,257(千円)	■ 職 員 数	(正規) 38人 (定時) 57人
■ 設立登記年月	1980年1月		

今年度の大きな柱は健康づくり運動です。その中でも歩くことを重視します。四国八十八箇所めぐりのウォーキングマップを作成し、毎日万歩計を着けて距離に換算してマップを埋めて行くと約1年間で回れて御利益?があるというものです。この取組は病気探しの健診から、健康を確認する健診へと変更する大きな一步ともなります。

毎日歩いて、その結果を毎月の班会で体脂肪チェックなどして確認し、年に1回の健康診断でコレステロールの値が良くなっているのを喜び合うというものです。更に、診察室では、コレステロールが高い患者がいれば、あなたの住んでいる支部では健康体操をしていますよと連携できるなど、地域まるごと健康づくりの夢が広がっていきます。



■WHO提唱「世界と歩こうウォークイベント」の企画



広島県労働者共済生活協同組合

■ 所 在 地	広島市東区曙4丁目1-28	■ 活動エリア	広島県全域
■ 代 表 者 名	理事長 森川 武志	■ 役 員 数	(常勤) 2人 (非常勤) 23人
■ 組 合 員 数	357,424(人)		(監事) 3人
■ 出 資 金	2,119,761(千円)	■ 職 員 数	(正規) 33人 (定時) 14人
■ 設立登記年月	1959年1月		

広島労済生協(全労済)は、組合員の生活を守り、豊かな社会にしていくために共済事業を行っています。共済事業とは、私たちの生活を脅かすさまざまな危険(生命の危険や住宅災害など)に対し、組合員相互に助け合うという活動を保険のしくみを使って確立した保障事業です。

近年では、組合員の保障を見直すことによる保障の充実と家計支出の軽減をはかることを目的とした「生活保障設計運動」を積極的に展開し、組合員の暮らしの実現に向けた取り組みを強化しています。

このたび全労済会館(広島市東区曙)の改装にともない、個別の保障相談ブースを設け、プライバシーを保護しながら保障全般にかかる個別相談にお応えできるようになりました。広島労済生協(全労済)は、組合員の安心・信頼感と満足度の向上に向け、組合員とともに、歩みづけたいと考えています。



■カウンター風景

*組合員数、出資金、事業高は2004年3月31日現在。ただし、労済生協は2003年5月31日現在。

Net Work

NPO消費者ネット広島第2回総会・研修会を開催

第2回目となる今年の総会(6/1)では、2003年度の活動報告と決算、2004年度の活動方針と予算などを満場一致で承認しました。

また、リアルエンター事件弁護団(弁護団長・山田延廣弁護士)の基金から40万円が消費者ネット広島に寄贈されました。

総会終了後に開催した研修会は、広島弁護士会 山田延廣弁護士を講師に「広島県の消費生活条例の改正について」学び意見交換を行いました。本年度事業の重点課題である「社会制度改善への提言事業(条例見直しへの提言、団体訴権を担う消費者組織としての準備)」を推進するにあたり、現状(新法)確認をしたうえで条例改正に向けての方向性がみえ、大変有意義な研修会となりました。

| 県 | 連 | 紹 | 介 |

概 情

1967年9月に設立された広島県生協連は、現在12の会員生協に延べ85万6千世帯の組合員が加入する県内最大の消費者組織となっています。

購買生協は、地域、職域の6生協、3つの医療生協、2つの大学生協、1つの労済生協で構成されています。

生協は、県民の生活の安定と生活文化の向上に努めており、組合員のくらしと地域社会にとって、なくてはならない存在になっています。また、食品の安全、平和、環境、医療・福祉、健康、消費者政策などは組合員のみでなく、県民全体の共通の課題です。

今後は、県内生協が一体となって「福祉を中心とした明るいまちづくり」「省エネを中心とした私たちにできる地球温暖化防止の取り組み」「循環型地域社会づくり」「消費者トラブルの防止」などの課題に取り組み、よりよくくらしと安心できる地域社会の構築に貢献します。

会長理事：富田巖

会員数：12生協（休止1生協を除く）

総組合員数：856,075（人）

総出資金：16,673,829（千円）

総事業高：66,602,848（千円）

設立登記年月日：1967年9月6日

役員構成

会長理事	富田巖	(生協ひろしま理事長)
副会長理事	田頭俊彦	(日立造船因島生協理事長)
専務理事	岡村信秀	(常勤)
常務理事	研本正明	(広島県学校生協専務理事)
	坂本裕	(広島医療生協専務理事)
	高井章平	(広島県労働者共済生協専務理事)
理事	宇田川和代	(広島医療生協副理事長)
	小薮猛	(広島大学消費生協専務理事)
	砂月容子	(日立造船因島生協理事)
	田中嘉市	(広島修道大学生協専務理事)
	土井律紀	(生協ひろしま副理事長)
	仁田祥男	(広島県高等学校生協専務理事)
	野村文孝	(グリンコーフ生協ひろしま専務理事)
	橋野俊子	(生協ひろしま理事)
	花尾和代	(生協ひろしま理事)
	濱口逸記	(広島中央保健生協専務理事)
	松山智	(福山医療生協専務理事)
監事	坂本健	(広島県学校生協常務理事)
	盛谷博文	(広島中央保健生協常務理事)
	竹内佳代	(生協ひろしま理事)
顧問	中郷勲	(日立造船因島生協理事)